

# 知床森林センター

知床の森の今の姿をブログで紹介します。森林の不思議や役割に興味を持ってみませんか。

« 2006年11月 | [メイン](#) | 2007年1月 »

2006-12-28

## 来年も宜しくお祈いします

昨日、今日と、この時期には珍しい雨が降っています。爆弾低気圧の影響で大荒れの天気が予想されていますが、今のところ斜里市街は風は強いものの、降雪は数センチと少なめに留まっています。

今日は知床森林センターの仕事納め。今年は油に汚染された海鳥の漂着に始まり、サンマの大量漂着や津波騒ぎなど騒がしいことの多い年でしたが、来年は穏やかな年になることを祈っています。

知床森林センターも来年は新たな取り組みに努力したいと思っております。来年も宜しくお祈いいたします。

投稿日 2006-12-28 | [リンク用URL](#)

2006-12-22

## 誰のあしあと??

この時期知床の森を歩くと、たくさんの動物の足跡に出会います。今日は、一面真っ白な雪に覆われた林道で、エゾリスの足跡を見かけました。

エゾリスの足跡は歩幅が10~15センチ。飛び跳ねるように歩くため、小さな前足の跡が大きな後足の後ろにつくのが特徴です。

冬の間、エゾリスは秋に地中に埋めたドングリなどの餌を雪の中から掘り出して食べています。残念ながら、今日はその姿を目にすることは出来ませんでした。しかし、小さな体で氷点下の雪原を駆け回るエゾリスの姿を想像すると、そのたくましさを感じずにはられません。



投稿日 2006-12-22 | [リンク用URL](#)

2006-12-19

## サケの遡上に配慮したダムの改良

知床は、世界自然遺産登録にあたりユネスコより「ダムがサケ科魚類へ与える影響」について指摘がされており、学識経験者等により構成された「知床世界自然遺産科学委員会」の「河川工作物ワーキンググループ」にて、ダムが魚に与える影響評価等が行われています。

その中では、昨年度のワーキングで評価された国有林が管理す

2009年11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

最近の記事

知床らうすの森・川・海をつなぐ一日体験!

斜里町で来運・水の学校夏まつりに参加しました。

【知床】羅臼湖には可憐な高山植物が咲いていました。【快晴】

羅臼岳の登山シーズンスタート!

【知床】6/13ボンホロ沼でイベントを行いました【森林】

【6/6】センタールサフィールドハウスの開館式に出席

【知床】自動カメラで野生生物調査【自然】

斜里町植樹祭

知床森林センターHP移転のお知らせ

【知床】雨上がり、幻のボンホロ沼で爽快!森林浴

バックナンバー

2009年11月

2009年8月

2009年7月

2009年6月

2009年5月

2009年3月

2009年2月

2009年1月

2008年12月

2008年11月

もっと読む

[プロフィール](#)

るダムのうち5基について改良の必要性が示されており、そのうちの1つである岩尾別川の支流、赤イ川の治山ダムにおいて、現在、林野庁・北海道森林管理局による改修工事が行われています。

岩尾別川は過去にも土石流が発生するなど、山地災害の危険性をはらむ溪流であることから、改修にあたっては、ダムの高さを一部切り下げる他、玉石、巨石を前後に敷き傾斜を緩くするなどして防災機能を維持しつつ、サケ科魚類が上れるような工夫がなされています。

工事は年内に完了する予定です。来年からは、土砂移動の状況や魚を放してモニタリング調査を行う予定となっており、サケ科魚類が上れるような環境に近づけていく形となります。

(下の写真は、汚濁防止と作業の進行を早めるため、箱樋で河川迂回を行う仮設対策を施している状況)



投稿日 2006-12-19 | [リンク用URL](#)



# 知床森林センター

知床の森の今の姿をブログで紹介します。森林の不思議や役割に興味を持ってみませんか。

« 2006年10月 | [メイン](#) | 2006年12月 »

2006-11-29

## 網の中では

当センターでは、平成10年から調査区を網で囲い込み（8m×8m）定点写真を撮っています。周囲の植物が枯れる頃には写真のようにササの緑色が四角形に目立つようになります。調査を始めた当初は辺り一面に緑のササが繁茂していたのですが、ここ数年前から写真のような状況になってきました。

いったいなぜこのような状況になったのでしょうか？

実は、網の周囲はエゾシカによりササが毎年食べられてしまい、そのことでササ丈が低くなり最終的に枯れてしまったのです。この場所に限らず、知床の森を歩くと数年前にはササ原だったのに今はササがほとんど見当たらず、ハンゴンソウやミミコウモリなどシカが食べない植物が目立つ場所を多く見かけます。この写真を見るとエゾシカの食圧により知床の植生が変化してきている実態を強く感じてしまいます。



投稿日 2006-11-29 | [リンク用URL](#)

2006-11-21

## イタヤカエデの種

今の時期の森は紅葉もすっかり終わり、トドマツのような常緑針葉樹を除き葉っぱを落とした木々が多く見通しがきくので調査がやりやすいです。そんな中、イタヤカエデの枝先にぼつんと種が残っていました。羽を持ったようなこの種は「翼果」と呼ばれ、風に乗って遠くに飛んでいきやすいような形状をしています。次に大風が来たら、子孫を残すためどこか飛んでいくのでしょうかね。



投稿日 2006-11-21 | [リンク用URL](#)

2006-11-14

## キハダの内皮

来月のイベント（草木染め）の準備で、染色の原料候補である

2009年11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

最近の記事

知床らうすの森・川・海をつなぐ一日体験！

斜里町で来運・水の学校夏まつりに参加しました。

【知床】羅臼湖には可憐な高山植物が咲いていました。【快晴】

羅臼岳の登山シーズンスタート！

【知床】6/13ポンホロ沼でイベントを行いました【森林】

【6/6】センタールサフィールドハウスの開館式に出席

【知床】自動カメラで野生生物調査【自然】

斜里町植樹祭

知床森林センターHP移転のお知らせ

【知床】雨上がり、幻のポンホロ沼で爽快！森林浴

バックナンバー

2009年11月

2009年8月

2009年7月

2009年6月

2009年5月

2009年3月

2009年2月

2009年1月

2008年12月

2008年11月

もっと読む

[プロフィール](#)

キハダの皮を小さくしています。キハダはその名の通り肌の色が黄色いことから名付けられたのですが、目に見える外側の皮はコルク質の淡褐色で、一皮むくと一転鮮やかな黄色が現れます。この部分は漢方薬にも使われるとのこと。エゾシカが好む木でもあり、今年の春には樹皮を食べられ黄色い内皮が露出したキハダを多く見かけました。それにしても自然界の色彩の豊富さには目を見張りますね。いい色で染まればよいのですが...



投稿日 2006-11-14 | [リンク用URL](#)

2006-11-02

## 秋も終わり

ドングリ調査の回収に行ってきましたが、もうこの時期では回収されるドングリはほんの数個で、代わりに落ち葉が沢山入っていました。シード（種）トラップというよりは、リター（葉）トラップという感じです。連山の雪も、最近の好天で融けていたのですが、一昨日の夜に降ったのか、また真っ白になっていました。その影響か、知床横断道路も昨日より通行止めとなっています。知床を訪れる人もまばらになってきました。秋の終わりを感ずるこの頃です。



投稿日 2006-11-02 | [リンク用URL](#)



# 知床森林センター

知床の森の今の姿をブログで紹介します。森林の不思議や役割に興味を持ってみませんか。

« 2006年9月 | [メイン](#) | 2006年11月 »

2006-10-23

## 冠雪

今年一番の寒気が流れ込んでいるようで、今日は全道的に冷え込んでいます。ここ斜里も、昼間でも肌に冷気を感じ、手袋がほしくなります。

そんな中、お昼のニュースで斜里岳が初冠雪したとの映像が流れました。

写真は、斜里岳のお隣、海別岳（うなべつだけ）です。頂上付近が雲で隠れていますが、裾野にかけて白っぽくなっているのがわかりいただけるかと思います。

麓の紅葉と頂上付近の雪化粧が楽しめるのはごくわずかな期間ですが、秋と冬が同居した景色も趣がありますね。



投稿日 2006-10-23 | [リンク用URL](#)

2006-10-19

## ホオノキの実

先日行われたイベントで、散策路上に赤く大きな実が落ちていました。その色の鮮やかさと形の不思議さに思わず目を引かれてしまいますが、これはホオノキの実です（昨年このブログで紹介しました）。木になっているときは上向きに立ち上がるようにしているため、下から見上げると大きな葉っぱに隠れてしまいなかなか見ることが出来ません。イベント参加者の方の「（南国を思わせる雰囲気です）まるで北の植物ではないみたいですね」とのコメントももっともだと思います。



投稿日 2006-10-19 | [リンク用URL](#)

2006-10-10

## 大雨の後に

先週末は発達した低気圧の影響により、知床も大荒れの天気でした。雨、風ともにかかなり強く、道も一部は通行止めになるなど、紅葉シーズンの3連休を直撃した形になりました。

2009年11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

最近の記事

知床らうすの森・川・海をつなぐ一日体験！

斜里町で来運・水の学校夏まつりに参加しました。

【知床】羅臼湖には可憐な高山植物が咲いていました。【快晴】

羅臼岳の登山シーズンスタート！

【知床】6/13ポンホロ沼でイベントを行いました【森林】

【6/6】センタールサフィールドハウスの開館式に出席

【知床】自動カメラで野生生物調査【自然】

斜里町植樹祭

知床森林センターHP移転のお知らせ

【知床】雨上がり、幻のポンホロ沼で爽快！森林浴

バックナンバー

2009年11月

2009年8月

2009年7月

2009年6月

2009年5月

2009年3月

2009年2月

2009年1月

2008年12月

2008年11月

もっと読む

[プロフィール](#)

そんな天気も落ち着き、自然観察教育林に被害が出ていないか巡視に行ったところ、驚いたことに春先の雪融け時期にしか水の流れない枯れ沢に流れが復活して、今の時期はヒメシダの草原となっているポンホロ沼が、本当に「沼」になっていました（写真はポンホロ沼）。かなりの大雨だったことが伺えます。春先だけしか水を湛えない「幻の沼」をこの時期見られるとは思いませんでしたが、今回の暴風雨ではオホーツク海側でもかなりの被害が出ています。悪天候もほどほどにしてほしいですね。



投稿日 2006-10-10 | [リンク用URL](#)

---

2006-10-06

## ツタウルシの紅葉

今年の知床の紅葉は遅れ気味なので、標高が高いところは色づいているものの、麓が見頃になるのは10月中旬になりそうです。そんな中、ドングリ調査で山に入ると足元が一面色づいていることに思わず息をのみました。この紅葉している植物はツタウルシといって、木に登ったり地面をはったりと知床でも沢山見られるのですが、ウルシ、というだけあって触るとかぶれます。その鮮やかな色合いに思わず手に取ってしまいたくなる衝動に駆られますが、見るだけにとどめておきましょう。



投稿日 2006-10-06 | [リンク用URL](#) | コメント (0)



# 知床森林センター

知床の森の今の姿をブログで紹介します。森林の不思議や役割に興味を持ってみませんか。

« 2006年8月 | [メイン](#) | 2006年10月 »

2006-09-25

## 葉っぱクイズ好評でした！

昨日24日はスカッとした秋晴れの下、斜里町のみどり工房しゃりにおいて「しれとこ産業祭り」が開催され、知床森林センターも出展しました。多くのお客さんで賑わう中、丸太切りや火起こし体験も好評だったのですが、何より私たちが驚かせたのは、今年初めて企画した「葉っぱ当てクイズ」に予想以上の参加者が集まったこと。なんと200人近い方に参加いただき、用意した解答用紙も底を尽きかけました。クイズ自体は知床にある12種類の広葉樹の葉っぱを掲示し、そのうち解答用紙に書かれた8種類について番号を記入してもらう、というシンプルなものでしたが、様々な形の葉っぱに興味を引かれたのか、多くの方が足を止めて関心を示されていました。クイズといっても用意した図鑑を見て答えてもOK、としていたので、全問正解の方も続出し、身近な木に関心を持ってもらう、という目的も達成できたと感じました。



投稿日 2006-09-25 | [リンク用URL](#)

2006-09-22

## 猿梨を見つけました

実りの秋ですが、センター近くの森でサルナシの実を見つけました。コクワとも呼ばれるこのツル性植物は秋に甘酸っぱい実を付けることで知られており、果実酒やジャムの材料として重宝がられています。キウイフルーツはこのサルナシの仲間を品種改良した果物です。もちろん、クマをはじめとして森の動物たちの好物でもあります。冬に備える動物たちにとっては沢山なってほしい木の実の一つです。



投稿日 2006-09-22 | [リンク用URL](#)

2006-09-15

## タマゴの中にキノコ？

森の中を歩いていると遠くにポッコリと赤いキノコの頭が見え

2009年11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

最近の記事

知床らうすの森・川・海をつなぐ一日体験！

斜里町で来運・水の学校夏まつりに参加しました。

【知床】羅臼湖には可憐な高山植物が咲いていました。【快晴】

羅臼岳の登山シーズンスタート！

【知床】6/13ポンホロ沼でイベントを行いました【森林】

【6/6】センタールサフィールドハウスの開館式に出席

【知床】自動カメラで野生生物調査【自然】

斜里町植樹祭

知床森林センターHP移転のお知らせ

【知床】雨上がり、幻のポンホロ沼で爽快！森林浴

バックナンバー

2009年11月

2009年8月

2009年7月

2009年6月

2009年5月

2009年3月

2009年2月

2009年1月

2008年12月

2008年11月

もっと読む

[プロフィール](#)

たので、近寄ってみると白い殻を割って出たばかりの「タマゴタケ」でした。

写真のように小さい頃は白くタマゴのような形をしていることからタマゴタケと命名されたようです。この「タマゴ」の中には既に小さなキノコが入っており、それを見た時は思わず「可愛い!」と思ってしまいました。

森の中ではタマゴタケが大きくなったものも見られ、赤いカサを大きく広げた姿が遠くからでもよく目立ち、ここにも、あそこにも、と見つける事ができました。よく足下を見ながら歩くと小さな「タマゴ」が土からポッコリと顔を覗かせているかも知れません。



投稿日 2006-09-15 | [リンク用URL](#)

2006-09-11

## ドングリトラップ設置しました

実りの秋を迎え、当センターで平成元年より継続して行っているドングリ調査のため、今年も落ちてくるドングリを集めるシードトラップを設置してきました。

知床を代表する木『ミズナラ』の種であるドングリは、ヒグマやエゾリス、エゾシカなど野生動物の重要な食料源になります。

しかし、ミズナラの結実習性については未知の部分が多く、年によって豊凶の差があるため毎年継続して調査を行っています。

すでに足下には未熟のまま落ちたドングリが目立ちました。昨年は凶作でしたが、今年は回収したドングリの集計に忙しくなりそうです。



投稿日 2006-09-11 | [リンク用URL](#)

2006-09-06

## 散策路の手入れ

知床自然観察教育林内の散策路を巡視中、道に覆い被さったトドマツを見つけました。樹齢は40~50年ほどの大きな木でしたが、弱って枯れかけたところに強風が吹いて倒れたものと思われます。放置しては道が通れませんので、手ノコで支障となる部分を切って通行出来るように整備しました。枯れてしまった木はみすぼらしく邪魔くさく見えるかもしれませんが、それはそれで虫などの住処となり野鳥などの餌場にもなります。今回はちょっと動かさせてもらいましたが、枯れ木も森林生態系の大切な一員という目で見たいですね。





投稿日 2006-09-06 | [リンク用URL](#)

# 知床森林センター

知床の森の今の姿をブログで紹介します。森林の不思議や役割に興味を持ってみませんか。

« 2006年7月 | [メイン](#) | 2006年9月 »

2006-08-24

## 種のシャワー

調査が終わり一息ついていると風が吹く毎にパラパラと上から雨のように何か小さなものが沢山降ってきました。晴れているのにこんな時に雨が降るはずないし・・・よく地面を見るとなにやら種のように、風が吹き抜けるたびにパラパラと降っていたのです。上を見上げるとハリギリの木が高くそびえ、その木の下には写真のような小さな雨粒の様な種が散乱していました。その他にオニグルミやヤチダモの種も落ちており、ハリギリの種のシャワーを浴びながら実りの秋がせまっている事を一足早く実感しました。



投稿日 2006-08-24 | [リンク用URL](#)

2006-08-22

## ドングリの赤ちゃん

毎年ドングリの落下数を調べている調査地に行ってきました。すると足元に緑色の小さな物体が…。これは熟する前に落下したドングリなのです。小さく見える突起がだんだん大きくなっていわゆるドングリになります。周囲を包んでいるゴツゴツした部分はドングリの成長に伴い、帽子のようになります（これを殻斗と呼びます）。

昨年はドングリは凶作でしたので、今年は豊作が期待されます。森の生き物たちの食べ物ともなるドングリですので沢山なしてほしいですね。



投稿日 2006-08-22 | [リンク用URL](#)

2006-08-16

## お盆の混雑

写真は昨日の午前9時半頃のオシンコシンの滝駐車場の様子です。国道沿いにあるこの観光地は多くの人々が訪れ、この日の夕方には車道にハザードを付けた空き待ちの車も数台停まりました。ここ以外でも、知床の各所で人や車が溢れかえっている印象を受けました。先週末までは比較的落ち着いているな、と

2009年11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

最近の記事

知床らうすの森・川・海をつなぐ一日体験！

斜里町で来運・水の学校夏まつりに参加しました。

【知床】羅臼湖には可憐な高山植物が咲いていました。【快晴】

羅臼岳の登山シーズンスタート！

【知床】6/13ボンホロ沼でイベントを行いました【森林】

【6/6】センタールサフィールドハウスの開館式に出席

【知床】自動カメラで野生生物調査【自然】

斜里町植樹祭

知床森林センターHP移転のお知らせ

【知床】雨上がり、幻のボンホロ沼で爽快！森林浴

バックナンバー

2009年11月

2009年8月

2009年7月

2009年6月

2009年5月

2009年3月

2009年2月

2009年1月

2008年12月

2008年11月

もっと読む

[プロフィール](#)

思っていたので、やはりお盆は特別だなあと感じた次第です。くれぐれも車の運転には気をつけてマナー良く知床を楽しんでいただきたいと思います。また別の機会に、静かな雰囲気秘境を訪れてもらいたいと感じました。



投稿日 2006-08-16 | [リンク用URL](#) | コメント (0)

2006-08-11

## タモギタケ

8月9日に第79回森林レクリエーションin知床「知床の森でキノコの秘密を探ろう」と題したイベントを実施しました。北大名誉教授五十嵐恒夫先生を講師に迎え座学と現地観察会を実施したのですが、現地で見つけた皆さんにもなじみの深いキノコが「タモギタケ」。イベント当日は人差し指の先ほどの大きさだったのですが、翌日(8/10)見に行ったら10cmほどに成長していて驚きました。あっという間に大きくなるのですね。



キノコというと食べられるかどうか、に興味集中しがちですが、生態系における分解者としての役割も忘れてはいけません。菌類が生物遺体を分解することで、森が健全に保た

れている、という「森のコーディネイター」として見てみると、森林散策ももっと楽しくなると思いますよ。ちなみにタモギタケは「腐生菌」といって死んだ有機物から栄養をとって生活する種類ですが、そのほか生きて生物から栄養をとる「寄生菌」、植物と助け合って生活する「共生菌」があります。皆さんの知っているキノコはどの種類か、夏休みの宿題に取り組んでみてはいかがでしょうか？

投稿日 2006-08-11 | [リンク用URL](#)

2006-08-04

## 潤いました

ウトロはここしばらくまとまった雨が降っておらず、なんとも埃っぽい毎日でしたが、今日は久しぶりに本格的な降雨がありました。気温はそれほど下がらなかったため森の中は蒸し蒸ししていましたが、こころなしか木々の緑にも張りがでてきたようにも見えました。



投稿日 2006-08-04 | [リンク用URL](#)

2006-08-02



## 一皮むけました

知床自然観察教育林を歩いていると、トドマツの幹に数多くのコエゾゼミの抜け殻を見つけました。昨年もこのブログで紹介（→こちら）しましたが、またこの季節がやってきました。すでもぬけの殻なものがほとんどでしたが、中にはまさに今、一生懸命幹を登っている幼虫や、羽化の最中のものもあり、幼虫から成虫へ変身する様子が手に取るようにわかりました。

左の写真は調査用のテープより先に進めず、横一列に並んだ抜け殻です。悪いことをしたな、と思いつつ上を見るとテープより上側にも抜け殻はありました。セミの中にも2メートル以上登って羽化するものもいれば、足元の草の葉の裏ですませてしまうものもいたり個性が豊かなようです。



投稿日 2006-08-02 | [リンク用URL](#) | [コメント \(0\)](#)

2006-08-01

## ゴミは持ち帰りましょう

今日は日観協観光地クリーンキャンペーンが実施され、当センターも職員2名が参加してオシンコシンの滝と知床峠にて清掃活動や観光にいらした方へのゴミ持ち帰り呼びかけなどの啓蒙活動を行いました。

両地区とも、思ったよりゴミは目立たず、遺産登録が訪れる方のマナー向上に影響しているように伺えましたが、それでも所々に吸い殻が見つかりました。たばこの吸い殻は山火事の原因にもなりますので、吸った後はきちんと携帯灰皿等に処理しましょう。

今日から8月、いよいよ観光シーズンもピークを迎えます。後から来る方もきれいな知床が満喫できるよう、マナー良く知床を楽しみましょう。



投稿日 2006-08-01 | [リンク用URL](#)

# 知床森林センター

知床の森の今の姿をブログで紹介します。森林の不思議や役割に興味を持ってみませんか。

« 2006年6月 | [メイン](#) | 2006年8月 »

2006-07-26

## 可憐な姿に癒されました・・・

森林センターが所在している斜里町には、「発見の森」と呼ばれる国有林があります。ここは、町の中心部から歩いて行ける距離であるにもかかわらず、一歩足を踏み入るとトドマツやミズナラ、イタヤカエデ等が繁る森が広がります。多くの野鳥やモモンガ等の生き物が生息しているほか、竪穴式住居跡も見ることが出来る身近な森林です。発見の森を歩いていると、夏の森の濃い緑の中にオレンジ色が目を引き、近づいてみると「クルマユリ」でした。線が細くすらりと伸びた先には、うつむく様な姿の花が咲き繊細さを感じさせます。漢字で「車百合」と書き、中段の葉が車輪のように放射状に付いていることからこの名前が付きました。散策路沿いには、クルマユリの鮮やかなオレンジ色が目立ち、その可憐な姿に癒されました。



投稿日 2006-07-26 | [リンク用URL](#)

2006-07-24

## 御前橘

写真は羅臼湖散策路の途中で写したゴゼンタチバナです。今の時期多くみられる花ですが、白い花びらに見えるものは実は苞と呼ばれる、開花前の花を包んでいたもので、その中に小さく集まっているものが花になります。ちなみに葉が4枚のものには花はつかず、6枚のもののみ花が咲きます。秋には赤い実をつけ再び目を楽しませてくれます。



投稿日 2006-07-24 | [リンク用URL](#) | [コメント \(0\)](#)

2006-07-13

## シャクナゲの花の咲く頃

知床自然遺産区域内にある自然観察教育林のホロベツ川沿いには2～3メートル位の岩場から川面に向かって流れるように枝が伸びているシャクナゲがあります。毎年この花を見るのが楽しみなのですが、時期を逸してしまうと見られずに残念な思いをする事も何度かありました。今年はちょうど花が咲く時期に

2009年11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

最近の記事

知床らうすの森・川・海をつなぐ一日体験!

斜里町で来運・水の学校夏まつりに参加しました。

【知床】羅臼湖には可憐な高山植物が咲いていました。【快晴】

羅臼岳の登山シーズンスタート!

【知床】6/13ポンホロ沼でイベントを行いました【森林】

【6/6】センタールサフィールドハウスの開館式に出席

【知床】自動カメラで野生生物調査【自然】

斜里町植樹祭

知床森林センターHP移転のお知らせ

【知床】雨上がり、幻のポンホロ沼で爽快!森林浴

バックナンバー

2009年11月

2009年8月

2009年7月

2009年6月

2009年5月

2009年3月

2009年2月

2009年1月

2008年12月

2008年11月

もっと読む

[プロフィール](#)

現地へ行く事が出来ました。このシャクナゲを見るためには、ヒグマの生息する山深い散策路を1時間以上歩かねばなりません、やっとホロベツ川に到着し苦勞して歩いてきた事もあって、このシャクナゲが咲いているのを見るといつも感動してしまいます。このシャクナゲのすぐ下流には滝があり、滝とシャクナゲを見ながら川沿いで昼食を食べるのがこの現場へ来る楽しみのひとつです。



---

投稿日 2006-07-13 | [リンク用URL](#)



# 知床森林センター

知床の森の今の姿をブログで紹介します。森林の不思議や役割に興味を持ってみませんか。

« 2006年5月 | [メイン](#) | 2006年7月 »

2006-06-22

## 知床の森に猿??

この写真の花は、ある動物の顔に似ていることから、その名前が付いているのですが・・・この花はどんな動物の顔に似ていると思いますか？

この花は「サルメンエビネ」で、名前の由来は赤い唇弁のまだらと皺が寄っている様が「猿」の顔に似ているからです。最初にこの花を見たときは、人工的に交配して作られた花のように綺麗で、こんな不思議な形をした花が山野草にあることに感動しました。山の中に散在している花なので、なかなか見つける事が難しく、運良く見つけることができ、久しぶりの「猿」



との対面に何度となくデジカメのシャッターを切りました。

投稿日 2006-06-22 | [リンク用URL](#)

2006-06-15

## 網の上から...

平成9年より継続調査を行っているイチイ林木遺伝資源保存林におけるエゾシカ食害調査を行いました。今年も新たな被害を確認し、食害を受けたイチイは前年より3ポイント増えて96%にまで達してしまいました（食害調査の概要はこちら）。

今回の調査の中では、過去に防除対策として巻いた金網越しに樹皮を食べたらしい跡も確認され、エゾシカの生き延びるための必死さに驚かされました。



投稿日 2006-06-15 | [リンク用URL](#)

2006-06-09

## 姫一華

今週末に開かれるイベントの下見のため、ポンホロ沼周辺を歩いていると、姫一華（ヒメイチゲ）が咲いていました。名前の『ヒメ（姫）』とは、「やさしい」「女性的な」といった植物全体の感じを表しています。『イチゲ』の方は『一華』と書き、その名の通り花を一つしか付けません。

2009年11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

### 最近の記事

知床らうすの森・川・海をつなぐ一日体験！

斜里町で来運・水の学校夏まつりに参加しました。

【知床】羅臼湖には可憐な高山植物が咲いていました。【快晴】

羅臼岳の登山シーズンスタート！

【知床】6/13ポンホロ沼でイベントを行いました【森林】

【6/6】センタールサフィールドハウスの開館式に出席

【知床】自動カメラで野生生物調査【自然】

斜里町植樹祭

知床森林センターHP移転のお知らせ

【知床】雨上がり、幻のポンホロ沼で爽快！森林浴

### バックナンバー

2009年11月

2009年8月

2009年7月

2009年6月

2009年5月

2009年3月

2009年2月

2009年1月

2008年12月

2008年11月

もっと読む

[プロフィール](#)

ちなみに、この花は花びらを持たない花なのです。というのも、この白い花びらに見える部分は「花びら」ではなく、「がく」なのです。

知床の原生的な樹木とは対照的に、細くて繊細な花を咲かせているのが印象的でした。



投稿日 2006-06-09 | [リンク用URL](#)

2006-06-05

## 一人じゃないけど...

森林の中で群生して咲いているヒトリシズカを見つけました。

その白く可憐な姿を静御前にたとえ、また花穂が1本であることからこの名が付けられたそうで、2本出る「フタリシズカ」も別にあります。

単独で生えることは少なく、数本で群生することが多いようですが、これだけ集まると名前から受ける印象とはかけ離れた迫力を感じますね。



投稿日 2006-06-05 | [リンク用URL](#) | コメント (0)



# 知床森林センター

知床の森の今の姿をブログで紹介します。森林の不思議や役割に興味を持ってみませんか。

« 2006年4月 | [メイン](#) | 2006年6月 »

2006-05-31

## これが花なんですか？

この写真は花なのですが、一体どんな植物の花だと思いませんか？一見すると地味で目立たなく花らしくない様相ですが・・・これはイタヤカエデという木の花なのです。今時期はこのように沢山の花をつけています。緑黄色の花なので遠くから見ると葉と見分けが付きにくくて気づかない事が多いです。自然観察会で「これがイタヤカエデの花なんですよ」と解説すると「これが花なんですか？この木に花が咲いているなんて今まで気付かませんでした」という答えが返ってくる事が多いです。サクラのように目立つ花を咲かせる木もありますが、目立たない地味な花を咲かせる木も多くあります。春から夏にかけて木が花を咲かせる時期です。いつもと見方を変えて地味な木の花を探してみてもいいでしょうか？



投稿日 2006-05-31 | [リンク用URL](#)

2006-05-30

## 春の落とし穴

春先の雪融けの頃、山の中を歩いていると樹木の幹の周りだけ雪が融け穴があいているのを見かけます。白く太陽光を反射しやすい雪に対し、樹木の幹は太陽エネルギーを多く吸収し暖まるため幹の周りの雪が融けやすくなりこのような穴が出来るとです。

よそ見をしながら山歩きしていると思わずはまってしまいがちですが、山スキーをする人にとってもツリーホールと呼ばれ危険な地形の一つとして挙げられています。最近のポカポカ陽気で芽吹き花咲く樹々に目を奪われるこの頃ですが皆さん足元注意でいきましょう。



投稿日 2006-05-30 | [リンク用URL](#) | [コメント \(0\)](#)

2006-05-29

## 高度が上がれば

写真は先週末の知床峠まで上がる途中の景色、標高約600m

2009年11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

最近の記事

知床らうすの森・川・海をつなぐ一日体験！

斜里町で来運・水の学校夏まつりに参加しました。

【知床】羅臼湖には可憐な高山植物が咲いていました。【快晴】

羅臼岳の登山シーズンスタート！

【知床】6/13ポンホロ沼でイベントを行いました【森林】

【6/6】センタールサフィールドハウスの開館式に出席

【知床】自動カメラで野生生物調査【自然】

斜里町植樹祭

知床森林センターHP移転のお知らせ

【知床】雨上がり、幻のポンホロ沼で爽快！森林浴

バックナンバー

2009年11月

2009年8月

2009年7月

2009年6月

2009年5月

2009年3月

2009年2月

2009年1月

2008年12月

2008年11月

もっと読む

[プロフィール](#)

付近です。海岸付近のウトロ周辺や比較的標高の低い幌別、岩尾別辺りでは一斉に若葉が萌え出て、エゾヤマザクラのピンク色と相まっていかにも春らしい雰囲気ですが、車で10数分登ると季節が逆戻りした感じになります。植生の垂直分布の多様さが知床の特徴ですが、一度に違う季節を体感できることも魅力の一つではないでしょうか。



投稿日 2006-05-29 | リンク用URL | コメント (0)

2006-05-16

## 峠にも春

長い冬も終わり知床にも春が訪れ、知床横断道路も5月7日にやっと開通しました。

今は10時～15時の時間帯だけの開通となっていますが、この時期ならではの雪の残る知床連山の山々を眺ながら雪の壁の間を走り抜け峠に行くと雄大な羅臼岳が目の前にそびえ、天気によければ北方領土まで観ることが出来ます。これから知床もシーズン本番です。



投稿日 2006-05-16 | リンク用URL

2006-05-02

## 開通延期

昨日のブログに書いた知床横断道路の開通ですが、昨夜から10～15cmの降雪があったとのことで、開通は延期となりました（開通は未定。詳細は網走開発建設部HPへ）。昨年も開通直前に降雪に見舞われ連休後の開通を余儀なくされましたが、道路関係者の方は大型連休に間に合うよう、3月中旬から除雪作業を進めていただけに残念な思いをされていることと思います（写真は横断道路斜里側ゲート）。

知床五湖への道は開通していますが、五湖周辺の道路もシャーベット状となっており、夏タイヤでの通行は危険です。気温もおそらく0度近く、本州から来た観光客の方も寒そうな思いで散策されていました。昨日も書きましたが、連休中に知床にお越しになる際は、天候の急変も考慮し、防寒対策や足元対策（長靴など）等きちんとした装備、心構えでいらっしやることを強くお勧めします。



投稿日 2006-05-02 | リンク用URL | コメント (0)



2006-05-01

---

## 雪融け進み

ここ数日、最高気温も2桁となり、春の訪れを感じる知床です。

雪融けも進み、センターから見える斜里岳、海別岳も黒い部分が増えてきました。

(最新の様子は知床ウォッチへどうぞ)

先月28日は知床五湖へ向かう道が、明日5月2日には知床横断道路が開通(当面は10:00~15:30の時間限定です)し、いよいよ本格的な観光シーズンの到来です。とはいえ、知床の天候は変化しやすいので、いらっしゃる方は油断せず、それなりの装備と余裕を持った行程でおいで下さい。(写真は「知床ウォッチ」で見た海別岳)



---

投稿日 2006-05-01 | [リンク用URL](#) | [コメント \(0\)](#)

# 知床森林センター

知床の森の今の姿をブログで紹介します。森林の不思議や役割に興味を持ってみませんか。

« 2006年3月 | [メイン](#) | 2006年5月 »

2006-04-27

## プカプカ浮いてる?

久しぶりの春の陽気の中、森の中を踏査していると、水たまりに何か小さなものが浮いているのが見えたので近づいてみました。なんとエゾアカガエルが1匹でプカプカと気持ちよさそうに浮いていたのです。春の陽気とはいえ所々に雪が残りまだ肌寒く水の中もまだ冷たいだろうに……。そこは毎年カエルが産卵する場所で、春本番を迎える頃にはカエルの大合唱が聞こえますが、今はまだ大合唱の時期ではないようです。今の時期はまだ水が冷たいのでこんなに早く出てきて大丈夫なの?とカエルの心配をしてしまいました。今年は雪解けが遅いようですが、カエルの大合唱が聞ける日を楽しみにしています。



投稿日 2006-04-27 | [リンク用URL](#)

2006-04-20

## 知床に春の兆し

今頃の知床は、春の日差しがさしたかと思うと、次の日には雪がちらついたり、春が来たかと思うと遠のくような天候になることが多いです。やはり山は雪解けが遅く、まだ銀世界でカンジキを履き山を踏査していると、小さな春の兆しを見つけました。キタコブシの芽が膨んできていたのです。芽は羽毛のような絹毛に包まれており春が近づくにつれ大きく膨らみ、4月～5月にかけて白い花を咲かせます。今年はいつ頃開花するのでしょうか?知床にも春は確実に近づいてきています。



投稿日 2006-04-20 | [リンク用URL](#)

2006-04-18

## 今年もか・・・

毎年、春先に現場を踏査すると、「今年もか・・・」と思ってしまうことがあります。写真の様に木の皮が剥がされた無惨な木を山のあちこちで見かけるからです。一体誰が何の為に木の皮を剥がしたと思いますか?実はエゾシカが木の皮を剥がして食べたのです。冬になると食べられる餌の種類が極端に少なく

2009年11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

最近の記事

知床らうすの森・川・海をつなぐ一日体験!

斜里町で来運・水の学校夏まつりに参加しました。

【知床】羅臼湖には可憐な高山植物が咲いていました。【快晴】

羅臼岳の登山シーズンスタート!

【知床】6/13ポンホロ沼でイベントを行いました【森林】

【6/6】センタールサフィールドハウスの開館式に出席

【知床】自動カメラで野生生物調査【自然】

斜里町植樹祭

知床森林センターHP移転のお知らせ

【知床】雨上がり、幻のポンホロ沼で爽快!森林浴

バックナンバー

2009年11月

2009年8月

2009年7月

2009年6月

2009年5月

2009年3月

2009年2月

2009年1月

2008年12月

2008年11月

もっと読む

[プロフィール](#)

なり、木の皮を剥がして食べたり雪を掘りササなどを主に食べるようになります。エゾシカにとって雪で餌が少なくなる冬を超える事は大変厳しく、春先は餓死したエゾシカの死骸を見つけることが多い時期です。そして写真のような新たに皮を剥がされた木を見かけます。木の皮を全周食べられると木は枯れてしまうので森林生態系に与える影響が懸念されますし、林業にとっても大きな被害になります。毎年、この時期に新たに皮を食べられた木を見かけるたびに「今年もか・・・」と思い、知床の森のいく末に不安を抱いてしまいます。知床半島の中央から先端部分は森林生態系保護地域の保存地区として原則自然の推移に委ねる管理となっていますが、エゾシカ問題については何らかの人為的な対処が必要と感ずます。



投稿日 2006-04-18 | [リンク用URL](#)

---

2006-04-14

## 白い花満開

昨日は一日中雨で、ぐずついた天気でした。でも雪でないところで「もう冬は去ったのだな」、と感じたのもつかの間、夜半から雪に変わり、今朝起きると一面真っ白でした。センター前のイタヤカエデも雪をかぶり、まるで白い花が満開、といった様相です。でも午後には融けてしまうことでしょう。



投稿日 2006-04-14 | [リンク用URL](#)

---

2006-04-10

## 今年度のイベント予定

年度も替わり、ゆっくりながらも次第に春めいてきた知床です。

知床森林センターのホームページに平成18年度のイベント計画を掲載しましたので是非ご覧下さい

(<http://www.shiretoko.go.jp>)

今年度は、親子連れの方も参加しやすいように、休日の自然散策イベントを増やしています。知床の森林は一部を除きなかなか気軽に立ち入ることが出来ません。この機会に、世界自然遺産に登録された原生的な森林の雰囲気を感じていただければと思っております。

各々のイベントの募集につきましては、期日が近づいてきた際に、森林センターHP又は新聞等を通じて告知させていただきます。HPをこまめにチェックしていただければ幸いです。



では、今年度もよろしくお願いいたします。

---

投稿日 2006-04-10 | [リンク用URL](#)

# 知床森林センター

知床の森の今の姿をブログで紹介します。森林の不思議や役割に興味を持ってみませんか。

« 2006年2月 | [メイン](#) | 2006年4月 »

2006-03-30

## 森の中に置物？

オシンコシン高台の森の中を踏査していると、小鳥達の鳴き声に囲まれました。鳥たちは木の枝や地面に降りては何かをついばんでいたり、群れにはキツツキも混じっており、枯れ枝をコンコンと突っついていました。

にぎやかな小鳥達の群れが過ぎ去り、静けさが訪れると、何か遠くから視線を感じました。何だろう？と思い振り向くとフクロウが、ジッとこちらを見ていました。フクロウが全然動く気配がなかったので、置物かな？と思いましたが、ジッと見ているとゆっくりとまばたきをしていました。夜行性のフクロウを見る機会はなかなかなく珍しかったので、静かに観察していましたが、フクロウはジッとして微動だにせず、根負けして踏査を続けました。



投稿日 2006-03-30 | [リンク用URL](#)

2006-03-15

## 知床にも春の足音

知床はひと頃の寒さがゆるみ、市街地の雪融けは進んだものの、最低気温はまだ氷点下で山はまだ雪が残る銀世界です。そんな寒さの抜けきらない中、遠音別川沿いの林道を踏査中、雪融け跡のガレ場の茶色の中に薄緑の小さな点が遠くから目立ち、近寄ってみると芽をだして間もないフキノトウがぼつりと顔を覗かせていました。この日はいつもよりも気温が低くまた冬に逆戻りか？と思っていましたが、なにか小さな春をみつけたようで心温まる瞬間でした。知床にも春の足音が聞こえてきました。



投稿日 2006-03-15 | [リンク用URL](#)

2006-03-14

## 誰の足跡...

ウトロの林内を歩いていると雪面の上に裸足の足跡らしきものが。誰が裸足で雪の上を...。それがヒグマの足跡とは一瞬気づきませんでした。暖気が続いた影響で、3月上旬頃からヒグマが目撃されたとの情報は聞いており、意識はしていたものの、

2009年11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

最近の記事

知床らうすの森・川・海をつなぐ一日体験！

斜里町で来運・水の学校夏まつりに参加しました。

【知床】羅臼湖には可憐な高山植物が咲いていました。【快晴】

羅臼岳の登山シーズンスタート！

【知床】6/13ポンホロ沼でイベントを行いました【森林】

【6/6】センタールサフィールドハウスの開館式に出席

【知床】自動カメラで野生生物調査【自然】

斜里町植樹祭

知床森林センターHP移転のお知らせ

【知床】雨上がり、幻のポンホロ沼で爽快！森林浴

バックナンバー

2009年11月

2009年8月

2009年7月

2009年6月

2009年5月

2009年3月

2009年2月

2009年1月

2008年12月

2008年11月

もっと読む

[プロフィール](#)

実際目にするですぐ近くにいるのかも、という緊張感が走ります。通常は4月上旬頃より穴から出てくるといわれていますが、今年はかなり早くから活動が始まっているようです。



投稿日 2006-03-14 | リンク用URL

2006-03-13

## 風の強い日に

最近気のせいか風の強い日が増えてきたような気がします。ここ斜里では、春先に吹く強風を「斜里岳おろし」と呼ぶのですが、春が近づいてきた証なのかもしれません。写真は海別岳をバックにした防風林（カラマツ）です。といってもまだまだ子供なので、立派な防風林になるにはあと数十年はかかるでしょう。「広がる畑と列状に植えられた防風林」は道東の代表的な景観ですが、強風による土壌の浸食や、作物への被害を軽減するためにも大変重要な役割を果たしています。防風効果は風上側で樹高の5倍、風下側で30倍の範囲まで及ぶとも言われています。ちなみに大規模なものは国有林であることが多く、森林管理署は山だけでなく、耕地の周辺でも森林の管理を行っています。



投稿日 2006-03-13 | リンク用URL

2006-03-08

## 油汚染漂着海鳥回収作業

最近、テレビ等で知床の海岸に油にまみれた海鳥の死骸が大量に漂着したと報道を耳にされた方も多いかと思います。そのような中、3月6日（月）に関係行政機関による油汚染漂着海鳥回収作業が行われ、知床森林センターからも3名の職員が参加しました（総勢約80名参加）。

当日は、オクシベツ川河口からイワウベツ川河口の約40kmに渡る海岸線をグループに分かれ回収作業を行いました。現地ではまだ雪や氷が残る中、発見される死骸は岩の間に挟まっていたり、漂着ゴミの中に埋もれていたりと、漂着した網に絡まったりしているため、探しだし回収するのは大変で地道な作業でしたが、参加者は休むことなく真剣に取り組んでいました。死骸は翼部分や胴体、頭部がバラバラになったものがほとんどで、粘り気の強い黒い油が付着しており、石油のような匂いがしました。今回回収したものは1,698羽で、それまでに回収されたものを合わせると合計1,888羽回収されたそうです（詳細は斜里町HPをご覧ください。 <http://www.town.shari.hokkaido.jp/>）。テレビ等を通じてニュースとして見ていると、なにか遠くで起こっていることのように思えますが、実際に現場へ行き回収作



業に参加することによって、この問題が知床という現場で起きていることを身をもって実感しました。世界自然遺産でも認められた海と山の生態系が関わり合う知床の価値を守るためにも、今回の原因の早期説明が求められるとともに、二次被害防止のため出来る限りの協力をしていきたいと考えています。



投稿日 2006-03-08 | [リンク用URL](#)

2006-03-02

## フレペの森で

今日は第76回森林レクリエーションin知床「海一面の流水！エゾシカ集うフレペの森を散策しよう」を開催しました。最近続いた暖気でコースは融けて凍ってを繰り返し堅雪状態となってしまう歩くスキーの使用が心配されましたが、昨晚からの雪で10cmほど積もったため、スキーでの散策を楽しんで頂くことが出来ました。フレペの滝周辺の森では、エゾシカの集団がトドマツの下で雪宿りをしたり、ワタリガラスがカポンカポンと変わった鳴き声を上げる姿を観察することが出来ました。小雪がちらつく曇天模様であいにく知床連山の姿を望むことは出来ず、流氷も沖合に去っていましたが、森林の中では野生生物の痕跡や春を待つ樹木の姿などを見ることが出来、夏とは違った静寂の森の雰囲気を楽しんで頂きました。



投稿日 2006-03-02 | [リンク用URL](#)

# 知床森林センター

知床の森の今の姿をブログで紹介します。森林の不思議や役割に興味を持ってみませんか。

« 2006年1月 | [メイン](#) | 2006年3月 »

2006-02-22

## 小さな命

カシワの今シーズン伸びた枝に虫の小さなタマゴを見つけました。卵は1mm程度の大きさでまん中が黒くくぼんでいます（写真参照）。実はこれはミドリシジミというチョウの卵なのです。卵を顕微鏡で見ると卵はウニのように小さなトゲがありガラス細工のように綺麗です。春に新芽が出ると幼虫がすぐに芽を食われるように冬芽の根元に卵を産むそうです。

海岸林は北風が強く、流水が接岸する頃には寒さも一段と厳しくなり、ミドリシジミは卵のまま、この厳しい冬を越します。こんなに小さな命が厳しい冬を過ごすことを考えると生命の力強さを感じます。カシワ林を散策する際は枝をよーく観察して小さな命を探してみてくださいはいかかでしょうか？



投稿日 2006-02-22 | [リンク用URL](#)

2006-02-17

## 縁起が良い木は？

斜里町周辺の海岸沿いの森の中でカシワの木を多く見かけます。この時期、カシワ林の中を歩いていると、カサカサと枯れ葉が擦れ合う音が響いてきます。カシワは枯れ葉を付けたまま冬を過ごすので、森の中を歩くと茶色の葉を付けたカシワが目を引きまます。

落葉樹の多くが冬を迎えて葉を落とす中、カシワは秋に落葉せず枯葉で枝に残り、翌春に新芽が出るときに新葉と古葉と入れ替わり葉をゆずる事が縁起が良いとされています。アイヌの人々にはカシワの木が祭壇を守るという伝説があり、古来より世の東西を問わず神事・慶祝の木として貴ばれています。



投稿日 2006-02-17 | [リンク用URL](#)

2006-02-15

## 枝に顔が...

葉を落としたオニグルミの枝に動物の顔らしきものが現れました。

これはオニグルミの葉が付いていた所で葉痕（ようこん）とい、葉に水や養分を送る管の痕が目や鼻や口に見えたのです。

2009年11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

最近の記事

知床らうすの森・川・海をつなぐ一日体験！

斜里町で来運・水の学校夏まつりに参加しました。

【知床】羅臼湖には可憐な高山植物が咲いていました。【快晴】

羅臼岳の登山シーズンスタート！

【知床】6/13ポンホロ沼でイベントを行いました【森林】

【6/6】センタールサフィールドハウスの開館式に出席

【知床】自動カメラで野生生物調査【自然】

斜里町植樹祭

知床森林センターHP移転のお知らせ

【知床】雨上がり、幻のポンホロ沼で爽快！森林浴

バックナンバー

2009年11月

2009年8月

2009年7月

2009年6月

2009年5月

2009年3月

2009年2月

2009年1月

2008年12月

2008年11月

もっと読む

[プロフィール](#)

オニグルミに限らず色々な木の葉痕でも顔が見られるので、近くに木があったら枝を覗いて、いろんな動物を探してみてください。



投稿日 2006-02-15 | [リンク用URL](#)

2006-02-07

## 誰のシッポ？

現地調査の途中、雪の上にシッポが落ちているのを見つけました。実はこれはエゾモモンガのシッポです。周囲に足跡らしきものはなく、おそらくフクロウ等の鳥が捕食したあと落としたものと思われます。シッポの部分は毛ばかりで食べる場所が少ないため、残されることが多いとのこと。この扁平なシッポは滑空する時に飛行機の方向舵のような役割を果たすそうです。とはいえ、今ではただの毛の固まりとなってしまったシッポ。自然界の厳しい命のやりとりを示す証拠を見つけました。



投稿日 2006-02-07 | [リンク用URL](#)

2006-02-02

## キレンジャク

センターの庭にあるイタヤカエデの木に、キレンジャクという鳥の群れがやって来ました。頭に冠羽があって、尾の先が黄色いのが特徴です。彼らがやって来た目的は、街路樹のナナカマドの木の実は、少し高い位置にあるイタヤカエデの枝に留まり、狙いを定めてナナカマドの木の実を啄んでいました。キレンジャクが去った後のナナカマドの木には、実はほとんど付いておらず、なんだか寂しげに見えますが、食べられた実の中に



ある種は彼らにより運ばれ、どこかで新しい芽を出すことでしょう。

投稿日 2006-02-02 | [リンク用URL](#)



# 知床森林センター

知床の森の今の姿をブログで紹介します。森林の不思議や役割に興味を持ってみませんか。

« 2005年12月 | [メイン](#) | 2006年2月 »

2006-01-31

## 白い大地

先週「流氷接岸？」と書いたその直後、ウトロでは24日にかけて、峰浜では25日にかけて本格的に流氷が接岸しました（海が白く変化する推移は「知床ウォッチ」でご覧頂けます）。

写真は昨日の現地調査時に撮影したものです。道路左手の白い土地は実は流氷が押し寄せたオホーツク海です。山も、海も、夏とは全く違う姿を見せてくれるところが知床の大きな魅力です。明日から2月、流氷観光もシーズン本番を迎え、静かだった知床がまた賑わう季節になってきました。



投稿日 2006-01-31 | [リンク用URL](#)

2006-01-23

## 流氷接岸？

今日、網走地方気象台より、網走で流氷初日を確認したとの発表がありました。平年より3日遅く、昨年より3日早い確認だそうです。「知床でもひょっとして」と思い、知床ウォッチで画像を確認してみると、以久科海岸の風景に、昨日まで無かった白い帯が...

早速現地に確認に行った写真が以下のものです。流氷のような、そうでないようなビミョーな氷でした。ひょっとしてはぐれた流氷が打ち上げられたのかもしれませんが、はっきりしたことはわかりませんでした。ただ、ウトロでもはぐれ流氷が接岸したとの話もあり、気象台等の海氷情報でもずいぶん接近しているようなので、流氷本体が近日中に接岸する可能性は高そうです。

ちなみに流氷が接岸しても、その上に乗ることは大変危険な行為です。もし、ウトロ付近で流氷の上を歩いている人を見ても、その人達は専門の知識を持ったガイドが引率して特殊なスーツを着ていますので、決して真似をしないようにしましょう。



投稿日 2006-01-23 | [リンク用URL](#)

2009年11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

最近の記事

知床らうすの森・川・海をつなぐ一日体験！

斜里町で来運・水の学校夏まつりに参加しました。

【知床】羅臼湖には可憐な高山植物が咲いていました。【快晴】

羅臼岳の登山シーズンスタート！

【知床】6/13ポンホロ沼でイベントを行いました【森林】

【6/6】センタールサフィールドハウスの開館式に出席

【知床】自動カメラで野生生物調査【自然】

斜里町植樹祭

知床森林センターHP移転のお知らせ

【知床】雨上がり、幻のポンホロ沼で爽快！森林浴

バックナンバー

2009年11月

2009年8月

2009年7月

2009年6月

2009年5月

2009年3月

2009年2月

2009年1月

2008年12月

2008年11月

もっと読む

プロフィール

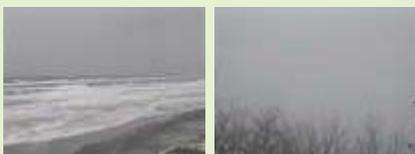
2006-01-19

## ウトロの天気

昨日出席したガイド講習会（知床エコツーリズム協議会、ガイド協議会主催）で講師の網走地方気象台の方から、「知床は地形的な特徴から基部（斜里市街）と先端寄り（ウトロ）で気象が異なる」とのお話がありました。

確かに、知床森林センターのある斜里市街はそれほどでなくても、ウトロではすごい風雪だった、ということは良くあるようで、この時期の行動は気象の変化に十分対応できるような準備が必要だと再認識しました。皆さんも、今いる場所がいい天気でも目的地がそうとは限りませんので十分気を付けましょう。

（写真は今日11時時点の「知床ウォッチ」の画像【左：峰浜、右：ウトロ】。ウトロは吹雪で視界がほとんどありません。）



投稿日 2006-01-19 | [リンク用URL](#)

2006-01-16

## 白いシャクトリムシ

最高気温が氷点下という真冬が続く最近にあって、ここ数日は比較的暖かい日が続きました。今日も快晴で気温も0度近くまで上がったのではないのでしょうか。今日の踏査も完全装備で出かけたものの、歩くスキーを操るうちに暑くなってきて後半は防寒着を脱いでしまいました。そんな途中に見かけた雪の造形物。暫くすれば融け落ちてしまうのですが、冬の山歩きには、思いがけない自然の芸術を見つける魅力もあります。



投稿日 2006-01-16 | [リンク用URL](#)

2006-01-12

## 流水初日

今日、紋別で流水初日を迎えたことが網走地方気象台より発表になりました。

平年より10日早い初日、とのことで、この調子で南下が進めば、早ければ1月下旬にもセンターHPのカメラ画像でも流水が確認できるかも知れません。（平年の網走の流水接岸初日は2月1日）（写真は今日の「知床ウォッチ」以久科からの画像）



※流氷初日：流氷が海岸から初めて見えた日

流氷接岸初日：流氷が海岸の大半に接岸し、沿岸に水路がなくなった最初の日



投稿日 2006-01-12 | [リンク用URL](#)

---

2006-01-04

---

## 除雪

官公庁は通常4日から仕事始めですが、今年は3日から降り続いた雪でいきなり除雪から始まりました。先月も12月としては記録的な大雪で、早々に除雪費の心配をしている自治体が多いと聞きますが、今年も先が思いやられるスタートとなりました。今回の雪は枝に着雪する湿った雪でしたが、これが度を過ぎると幹折れ、枝抜けなどの被害にも繋がりがねないので、ほどほどに降ってほしいと祈るばかりです。



投稿日 2006-01-04 | [リンク用URL](#)